

## 令和4年度 事業計画について

### ■当法人を取り巻く社会・経済状況

政府は、東日本大震災からの復興・創生、激甚化・頻発化する災害への対応に取り組み、デフレからの脱却に向けて大胆な金融政策、機動的な財政政策、成長戦略の推進に努めてきました。新型コロナウイルス感染症については、18都道府県で実施していた「まん延防止等重点措置」が3月21日をもって解除され、医療提供体制の強化やワクチン接種の促進、治療薬の確保に万全を期し、感染症の脅威を社会全体として引き下げながら、経済社会活動の正常化を図っておりますが、地域によっては感染者数が増加に転じており、すでに「第7波」へ突入したとも言われております。また国内経済は、ウクライナ情勢等による不透明感が見られ、原油や原材料価格の上昇など、景気の回復はまだ先となりそうです。

障がい福祉に関する令和4年度の予算は、「令和3年度補正予算と一体的に編成し、切れ目のない予算措置を行なうもの」として位置付けられ策定されたため、目新しい計画はありませんでした。その中で、障がい福祉現場で働く人々の収入の引き上げ、新型コロナウイルスの感染等に備えた消耗品等の支援や緊急時に備え職員の応援体制等の構築、ICTの活用による生産性向上の取組促進などを行なうため、障害福祉サービスに対する予算は、対前年予算に比べ1000億円を超える約1兆8500億円の大型予算となりました。

当法人におきましては、ゆらくの里の改築工事を終え、新しい環境のもと新たな活動体系での支援が始まりました。しかし改築は旧棟の一部に過ぎず、引き続き旧棟の改善を進めていく予定をしております。令和3年度の目玉となったのは、ヘルパー事業であります。施設入所者をはじめ地域の方の外出の要望に応えることができた結果であります。また児童及び成人の通所事業においても、休日開所を増やした支援を継続しております。

以和貴会ではご利用者、ご家族様のニーズに応えるため、必要に応じて職員雇用を進め、全職員一丸となって支援に従事し、結果につなげることができましたこと感謝いたします。

### ■令和4年度法人方針

#

令和3年度は、法人方針『「変化と考働」の継続 UHERUQ# #JHVWDUW##LZ DNL』に則し実行してきました。実施における大きな改革は、行動援護等のヘルパー事業の

実施拡大、各事業における加算や事業形態の見直しなど、支援の充実等を図った結果の収入構造の改善であります。収入構造の改善は、将来の法人設備改修や要望のある事業展開への投資、そして働く職員の賃金改善及び研修等による職員育成に活かすためのものであります。#

令和4年度は、前年度の法人方針の反省及び令和2年度からの継続方針「変化と考働」の仕上げとして#

# 変化と考働の完遂

#

を掲げ、次期中長期計画につながる成長戦略の布石として実行します。#

#

実施項目は次のとおりです。#

## ▶本気の職員育成#

「IZ DNI#VWDQGDUG」とマニュアルを活用した「IZ DNI#VWDII の標準化と帰属意識」の向上を図り、利用者支援の基本的な考え方（良い支援をしよう）を実行します。実行は、ポジティブシンキングによる「できる方法」をもって考え、PDCAの活用による「計画通りやりきる」姿勢で対応します。#

## ▶「ナライチ」（奈良一番）を目指す、障がい者支援モデルの構築#

「ナライチ」を目指すためには、専門性を構築する必要があり、自閉症支援、保健衛生（環境・医療・栄養・口腔）、権利擁護、労働環境の分野で専門性を追求して行きます。また法人全体で取り組むために、各事業にまたがった「共通業務分掌」として実行します。#

#

## ■令和4年度 各事業の計画

各事業において、法人方針を踏まえた実施計画を作成しました。#

別紙「アクションプラン」参照#

## ■令和4年度 設備計画

令和4年度の設備計画は以下のとおりであります。#

### ○ゆらくの里

令和3年度にゆらくの里改築工事を終わりましたが、旧棟（いぶき棟、みのり棟）の老朽化による修繕が必要となっております。なお、屋根及び外壁の改修は概算

#

#

見積もりとして 9333 万円程度の支出となる予定です。金額が高額であるためことから、入札等を実施する予定であるため、現時点では予算に計上していません。#

風鈴山荘も開所して 7 年が経過し、外壁等の痛みも出てきているため、修繕工事を予定しております。

#### ○就労事業

就労設備機器の老朽化に伴う修繕等が発生する予定ではありますが、高額な資産の購入など現時点では計画していません。#

#### ○地域事業

令和 4 年度より「ゆらくの里放課後等デイサービスセンター」と「放課後等デイサービスセンターHUG・L I V E」を同一施設内で運営することで、事業の効率化が図られ連携強化につながることから定員 30 名の事業所「放課後等デイサービスセンターHUG・L I V E・J O Y」として運営を開始します。設備としてシャワールームの設置による洗身・洗髪の自立支援と運動器具の導入による運動療育の実施を行ないます。#

### ■予算執行管理について

当法人における予算執行管理は、毎月の経営会議における各事業の実績報告を基本とし、3 カ月に 1 度の税理士監査によりシステム化された管理も行われております。このシステム化された管理により、毎月の予算と実績の誤差への対応や改善を各管理者が P D C A を活用して取り組み、大きな誤差が生じない、又は改善が図れるようになっております。#

#

#

#